

大東ガスは三芳町の 「落ち葉堆肥農法」を 応援しています

「落ち葉堆肥農法」とは・・・

三芳町の平地林を活用した、360年以上前の江戸時代から継承されている伝統農法です。

落ち葉を集めて堆肥として活用することで、農作物の安定的な生産を実現しています。

「落ち葉堆肥農法」は、日本農業遺産及び世界農業遺産に登録されるなど、世界的にも注目されている伝統農法です。

平地林を育てることによりCO₂を吸収し、さらに製造過程で多くのCO₂を発生する化学肥料を使用しないことから、CO₂の削減も可能です。

大東ガスは、地元三芳町の企業としてこの伝統農法を守り継承していくことにより、三芳町とともに持続可能なまちづくりの推進に取り組んでまいります。

